

巻頭の辞

ここに『先端社会研究所紀要』第5号をお届けする。2010年度から本格的に始められた三つのプロジェクトを中心に、現在、先端社会研究所は諸事業に取り組んでいる。「共生／移動」「空間／景観」「セキュリティ／排除」という三つのプロジェクトは、それぞれに研究テーマと分析方法を異にしながらも、多くの接点と重なり合いを有している。各プロジェクトでの活動を通じた研究成果と同時に、プロジェクトを通底／交差する問題関心や研究領域が、本号に収められた各論考からも読み取れるに違いない。そうしたプロジェクト横断的な共同研究の可能性にこそ、今後、先端社会研究所が精力的に取り組むべき課題が潜んでいるように思われる。

『先端社会研究所紀要』では、論文／研究ノート／書評とならんで、詳しい活動記録を掲載している。その趣旨は、研究所によるさまざまな研究／教育事業への取り組みを広く公表・紹介するとともに、より多くの方々に研究所の活動に関心を持っていただくことに置かれている。シンポジウム、エクスカージョン、公募研究、リサーチコンペといったさまざまな取り組みに対する理解が深まるとともに、より多くの方々から忌憚なき意見や感想が研究所に寄せられることで、より意義のある研究／教育事業への道筋が明らかになることを願ってやまない。

なお、2011年4月より、先端社会研究所所長は島村恭則氏（社会学部教授）に、同副所長は金明秀氏（社会学部教授）に、それぞれ交代する。皆様のこれまでのご協力を深くお礼申し上げますとともに、今後とも変わることなく、先端社会研究所の諸活動に対するご理解とご支援を賜りたく、この場を借りてお願いします。

2011年3月

先端社会研究所・所長

阿部 潔